等の品質、有効性及び安全性確保等に関する法律」が改正されたが、依然として医療現場では医薬品の供給不安が続いており、国に対して実効性のある迅速な対応を求めていく。最近問題になっている、過度なセルフメディケーションやスイッチOTC化を進めることに反対する。自己判断による誤用で重篤な疾患の発見が遅れたり、薬の乱用も起きており、国民の健康被害が広がる懸念がある。

⑺　７月の参議院選挙；かまやち候補は各都道府県への訪問も２巡、３巡目に入り、郡市区医師会への訪問も精力的に行っている。日本医師連盟も当選を目指し頑張っている。人口減少、高齢化の進行、急激な物価高騰、賃上げへの対応に各施設は困難を極め、このような現状から、今回の参議院議員選挙は今までの選挙と異なり、わが国の医療・介護・福祉の未来を問う非常に重要な選挙となる。会員皆さんの更なる支援が必要である。

会長挨拶に続いて、報告として令和６年度日本医師会事業報告が理事者より報告されました。議事として第１号議案・令和６年度日本医師会決算の件、第２号議案・令和８年度日本医師会会費賦課徴収の件が理事より説明され。それぞれ承認されました。

その後、19題の代表質問がありました。北海道ブロックからは札幌市医師会の野中副会長より、「物価高騰・賃金上昇に見合った診療報酬の改定の実施を」の質問をし、理事者からは、「骨太の方針2025」が確実に実行されるよう強く主張していく必要があり、そのためにも、来る参議院議員選挙は「医療の未来を左右する重要な選挙」であり全力で取り組む必要があるとの返答でした。

私からは、「災害時の地域医療情報ネットワークの有効性」と題して、災害時の被災者の健康保持、災害関連死を防ぐために、地域医療情報ネットワークはインフラとしても重要であり、さらなる整備と新たな公的な補助金や助成制度の策定が必要と訴えました。理事者より、国土強靭化の施策の一つして国と交渉するとの返答でした。

活発な議論があったのは、看護師などの医療職の有料職業紹介事業者の過剰な料金が医療機関を圧迫している問題が熱心に討論されました。准看護師養成所に関する質問も複数され熱心な討論がされました。当会（旭川市医師会）の看護師養成所と同様な現状が報告されました。

詳細は後日の日本医師会雑誌を参照ください。

日本医師会公式YouTubeチャンネルの登録ならびに日本医師会LINE公式アカウントの友だち追加へのご協力のお願い

日本医師会では公式YouTubeチャンネルやLINE公式アカウントを通じて、さまざまな情報を提供しています。それらの情報をご活用いただくため、ぜひ、YouTubeのチャンネル登録ならびにLINEへの友だち追加を、下記の二次元バーコードからお願いいたします。

●日本医師会公式YouTubeチャンネル

●日本医師会LINE公式アカウント

問い合わせ先：日本医師会広報課　E-mail：kouhou@po.med.or.jp